

31. 広島県オリジナルカンキツ新品種育成の一次選抜状況

1. 背景とねらい

カンキツ類は本県の基幹農作物であり，新品種の先行導入は，産地活性化の原動力となる。そこで，高品質なマンダリンタイプあるいはブンタン等の風味を持った爽やかな新中晩柑類を育成する。

2. 成果の内容

- 1) 一次選抜は，高品質なマンダリン，ブンタン等の風味を持った爽やかな新中晩柑類の2タイプについて，表2に示した育種目標に従って交雑実生を作出し，食味と果実特性調査を基にして一次選抜を実施した。
- 2) 平成10～18年度に一次選抜した系統は，マンダリンタイプ13系統，爽やかタイプ7系統である（表1）。
一次選抜した系統（抜粋）の特性は，次のとおりである（表2）。
- 3) マンダリンタイプとして有望と認められたA系統は，約200gの大果でオレンジ香を有する。また，ほぼ無核で，じょうのう膜ごと食することができ，食べやすい。
- 4) 爽やかタイプとして有望と認められたB系統は，黄色い短卵形の大果で外観に特徴がある。香りは爽やかなブンタン系で，食味良好である。剥皮性は中程度で手で剥くことができ，また，果芯が小さくほぼ無核でカットフルーツにも適する。

3. 今後の計画

- 1) 一次選抜した系統は，順次，現地試験を実施し，あわせて新技術セミナー等において，関係者等の意見を聞き，実需動向を踏まえた選抜（二次選抜）を行う。それにより選抜した優良系統については，品種登録を行う（図1）。
- 2) 品種登録する品種は，速やかに産地に普及させるため，ウイルス・ウイロイドフリーの原々母樹を作成する。

（果樹研究部・栽培技術研究部）

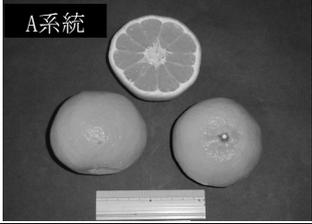
4. 具体的データ

表1 育成系統の一次選抜状況 (平成19年3月現在)

タイプ	交雑実生数	育苗・結実促進 系統数	(うち, 果実特性調 査開始系統数)	一次選抜系統数 (~H18)
マンダリンタイプ	約5,000	約650	(約70)	13
爽やかタイプ	約3,000	約1,400	(約150)	7

↓
二次選抜へ移行

表2 育種目標と一次選抜系統 (抜粋)

タイプ	育種目標	一次選抜系統 (抜粋)		写真
			特徴	
マンダリン タイプ	①12~1月出荷の年末年始用 ②果皮鮮紅色 ③種子がない ④高糖度 (Brix12以上)	【A系統】	①12~1月熟期, 大果 (約200g) ②果皮, 果肉とも橙~濃橙色 ③ほぼ無核 (種子数0~1個) ④1月平均Brix 12.7	
		【B系統】	①爽やかな風味 (香り: ブンタン系) ②ほぼ無核 (不完全種子数0~1個) ③剥皮性比較的良 カットフルーツ適性あり	
爽やか タイプ	①爽やかな風味 (香り, 食味等) を持つ ②種子がない ③食べやすい (剥皮性, カットフルーツ適性等)		①爽やかな風味 (香り: ブンタン系) ②ほぼ無核 (不完全種子数0~1個) ③剥皮性比較的良 カットフルーツ適性あり	

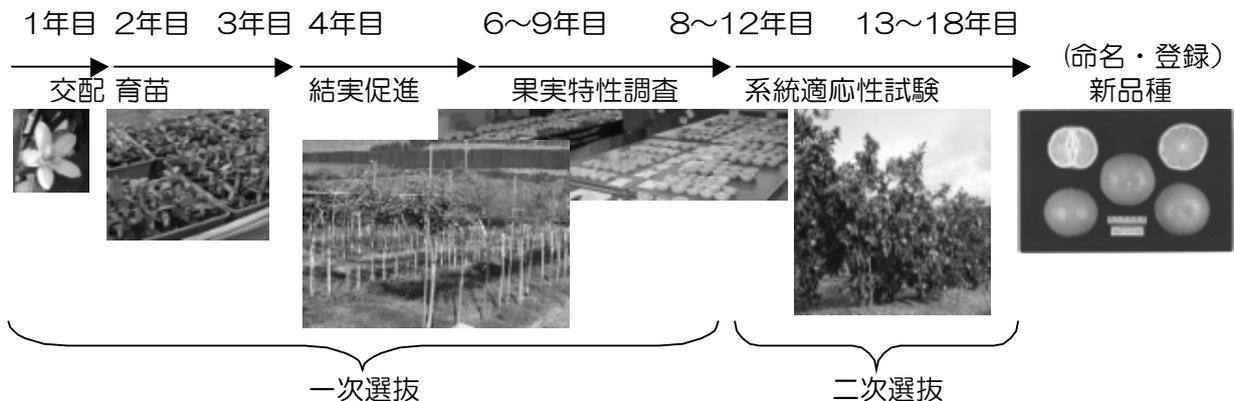


図1 カンキツ新品種誕生に至るまでの育成の流れ (モデル)